

(S2019-09 用)

研究課題名	症候性多発性骨髄腫に対する自家末梢血幹細胞移植後の地固め・維持療法の効果：関西骨髄腫フォーラムのデータベースを用いた後方視的解析
研究期間	西暦 2019年 6月 13日 ～ 西暦 2019年 9月 30日
研究の目的と意義	移植適応症候性多発性骨髄腫患者の標準治療は自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法とされていますが、移植後の地固め療法・維持療法の有用性については明確ではありません。本研究では関西骨髄腫フォーラム（Kansai Myeloma Forum：KMF）データベースに登録された症例を用いて、実地診療における地固め療法・維持療法の有用性を解析することを目的としています。
研究方法	<p>KMF データベースに登録されている患者さんのうち、1992年1月1日から2016年12月31日までに症候性多発性骨髄腫に対して自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を施行した方を対象に、KMF データベースおよび診療録（カルテ）より以下の情報を収集します。</p> <p>収集した情報を基に無増悪生存期間、全生存期間、地固め療法・維持療法の内容・頻度、その他予後に影響すると考えられる因子について解析します。</p> <p><情報> 患者背景、臨床所見、検査所見、治療法、効果判定、次治療の内容、転帰</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>この研究では、研究代表者の関西医科大学総合医療センター 血液腫瘍内科 中谷 綾先生に情報提供を行います。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません（公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです）。
問合せ先	<p>【研究責任者】 京都第二赤十字病院 血液内科 部長 魚嶋 伸彦 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代） 受付時間：月～金、9～17時（但し、土日、休祭日を除く）</p>

研究組織	<p>【研究代表者】 関西医科大学総合医療センター 血液腫瘍内科 中谷 綾</p> <p>【研究事務局】 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 准教授 柴山 浩彦</p> <p>【参加研究機関】 近江八幡市立総合医療センター 大阪赤十字病院 大阪大学大学院医学系研究科 関西医科大学 京都桂病院 京都鞍馬口医療センター 京都大学大学院医学研究科 京都第一赤十字病院 京都第二赤十字病院 京都府立医科大学医学部 近畿大学医学部 近畿大学医学部奈良病院 神戸中央病院 済生会中津病院 市立豊中病院 西脇市立西脇病院</p> <p>PL 病院 松下記念病院 りんくう総合医療センター 大阪国際がんセンター 高槻赤十字病院 日本赤十字社和歌山医療センター</p>
------	---